

「権力と肖像／象徴」

人民元、パンダ、復興号から考える

吉岡桂子

朝日新聞編集委員、アジア総局(バンコク)駐在

シンポジウム

入場無料・申込不要

中国は統治に肖像や象徴をどのように利用してきたのか。日本との戦争にあたって中華民国の国際世論工作から始まったパンダ外交、中華人民共和国の誕生にあわせて発行された人民元の「顔」、技術を前面に打ち出して21世紀の4大発明とはやした高速鉄道……。こうした肖像や象徴を世界はどう受け止めたのか、日本は？

世界を走り回って取材して比べてみると、日本と中国の特別な関係も見えてくる。具体的な事例に基づきながら、中国側の意図と国際社会の受け止めから、肖像や象徴が国家や人々にとって持つ意味を考えてみたい。

2018. 12.12 (水) 13:30 ~ 16:00

開催日時

開催会場

岡山大学津島キャンパス 文法経講義棟2階 24番講義室

〒700-8530 岡山県岡山市北区津島中3-1-1

プログラム

アクセス

バス：岡山駅西口バスターミナル22番乗り場から岡電バス【47】系統「岡山理科大学」行きに
乗車、「岡大西門」下車(約7分)。徒歩：津山線「法界院」駅より徒歩約10分。
※駐車スペースに限りがございます。できるだけ公共交通機関をご利用ください。

文法経講義棟24番講義室

13:30 開会のご挨拶

13:40 【基調講演】

●「権力と肖像／象徴 —人民元、パンダ、復興号から考える—」

吉岡 桂子(朝日新聞編集委員、アジア総局(バンコク)駐在)

14:40 休憩

14:50 【コメント】

●各国、各地域の権力と肖像／象徴

コメンテーター

遊佐 徹(岡山大学文学部教授) - 中国
佐々木 守俊(岡山大学文学部教授) - 日本
渡邊 佳成(岡山大学文学部准教授) - 東南アジア(ミャンマー)
吉田 浩(岡山大学文学部准教授) - ロシア

司会

遊佐 徹

15:30 総括討論、質疑応答



主催

平成30年度文学部プロジェクト研究「権力と肖像・象徴」

問い合わせ

遊佐 徹 tel 086-251-7377 e-mail yusa@cc.okayama-u.ac.jp